

平成27年度第4回

中小企業景況調査報告書

平成28年 1月～3月期 報告
平成28年 4月～6月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成28年1月～3月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 大多喜町商工会、袖ヶ浦市商工会、旭市商工会、野田市関宿商工会、南房総市朝夷商工会、印西市商工会、大網白里市商工会、成田市東商工会、東庄町商工会、富津市商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成28年1月～3月を対象とし、調査期間は平成28年2月20日～3月1日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比
製造業	28	17.0%
建設業	29	17.6%
小売業	45	27.3%
サービス業	63	38.2%
合計	165	

(小数点1位以下四捨五入)

(2) 業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比
総合工事業	14	48.3%
職別工事業	12	41.4%
設備工事業	3	10.3%
合計	29	

(小数点1位以下四捨五入)

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比
食料品製造業	8	28.6%
飲料・たばこ・飼料製造業	1	3.6%
木材・木製品製造業(家具を除く)	2	7.1%
家具・装備品製造業	1	3.6%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.6%
なめし革・同製品・毛皮製造業	2	7.1%
金属製品製造業	4	14.3%
はん用機械器具製造業	1	3.6%
生産用機械器具製造業	1	3.6%
業務用機械器具製造業	1	3.6%
その他の製造業	6	21.4%
合 計	28	

(小数点 1 位以下四捨五入)

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比
各種商品小売業	1	2.2%
織物・衣服・身の回り品小売業	6	13.3%
飲食料品小売業	22	48.9%
機械器具小売業	4	8.9%
その他小売業	12	26.7%
合 計	45	

(小数点 1 位以下四捨五入)

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比
一般飲食店	21	33.3%
宿泊業	2	3.2%
運送業	3	4.8%
自動車整備業	13	20.6%
洗濯・理美容業	12	19.0%
その他のサービス業	12	19.0%
合 計	63	

(小数点 1 位以下四捨五入)

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

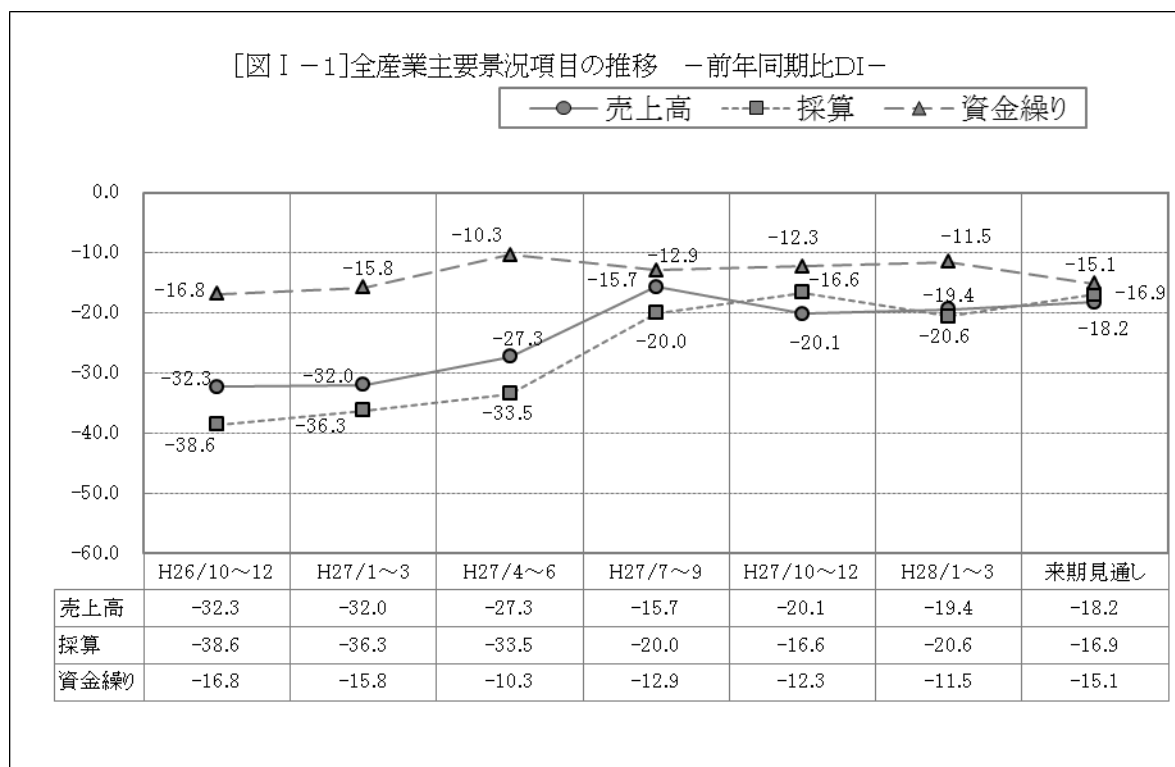
“業種によるバラツキはあるが、足踏み状態続く”

千葉県商工会地区の平成28年1～3月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図I-1]に示したとおり、今期売上高DI値は-19.4、前期（平成27年10～12月期、-20.1）比で0.7ポイントマイナス幅が縮小。同採算DI値は-20.6、前期（-16.6）比で4ポイントマイナス幅が拡大。また、資金繰りDI値は-11.5、前期（-12.3）比で0.8ポイントマイナス幅が縮小しており、全体的には、小幅な変動で、足踏み状態となっている。

また、前年同期（平成27年1～3月期）調査と比較してみると、売上高DI値は、前年同期（-32.0）比で12.6ポイント増、採算DI値については、前年同期（-36.3）比で15.7ポイント増、資金繰りDI値は、前年同期（-15.8）比で4.3ポイント増といずれもマイナス幅が縮小している。

今期は、業種によるバラツキが大きく、製造業、小売業については、売上高、資金繰りDI値のマイナス幅は縮小しているが、建設業、サービス業については、同DI値のマイナス幅は拡大している。また、採算DI値については全体的にマイナス幅が拡大している。














また、来期（平成28年4～6月期）については、売上高、採算DI値はやや改善する見通し。資金繰りDI値については、マイナス金利導入もやや悪化する見通しとなっている。



II. 各産業の景況

1. 製造業の景況

“採算はやや悪化も、改善傾向続く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

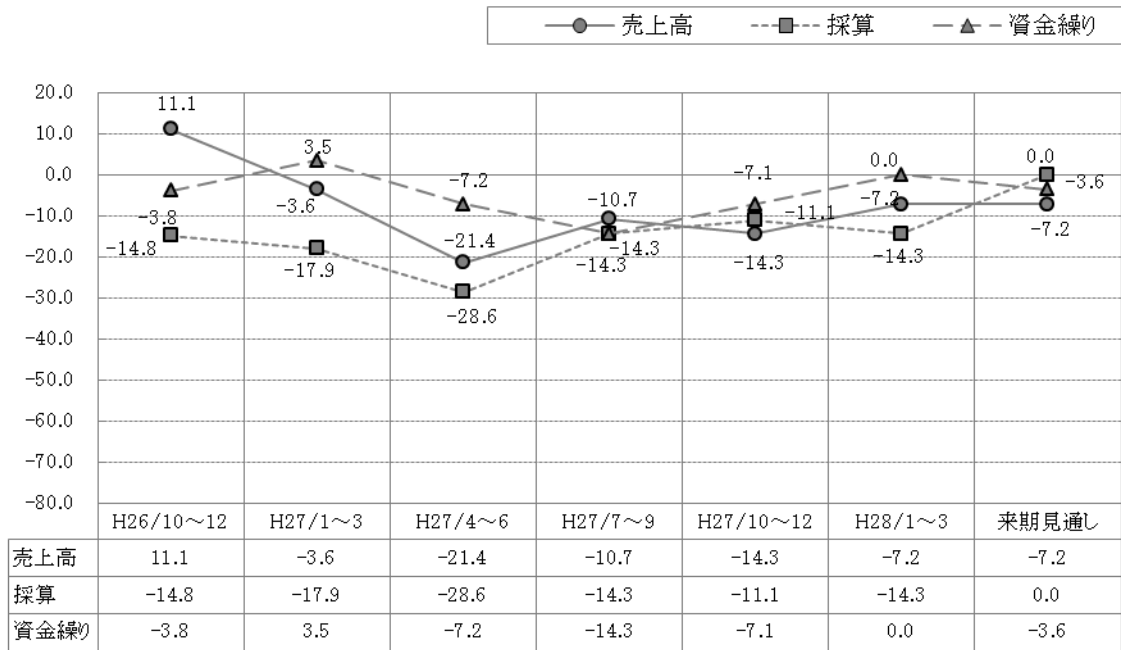
千葉県商工会地区における製造業の景況は、売上高 DI 値は-7.2 ポイント、前期と比べると 7.1 ポイント増加している。円高や海外市場の低迷等懸念材料は多いが、年度末需要などもあり、設備操業率、受注量については、安定している。一方で、原材料高騰や原材料不足を経営上の問題点とする事業者は増えており、採算 DI 値は 3.2 ポイントマイナス幅が拡大。また、需要の停滞、製品ニーズの変化を問題点とする事業者は前回同様に多く、新技術や新素材への対応、顧客接点の強化、新市場創出といった経営課題が確認できる。

資金繰り DI 値については 0.0 ポイントで前期から 7.1 ポイント改善し、で前期に続き改善している。

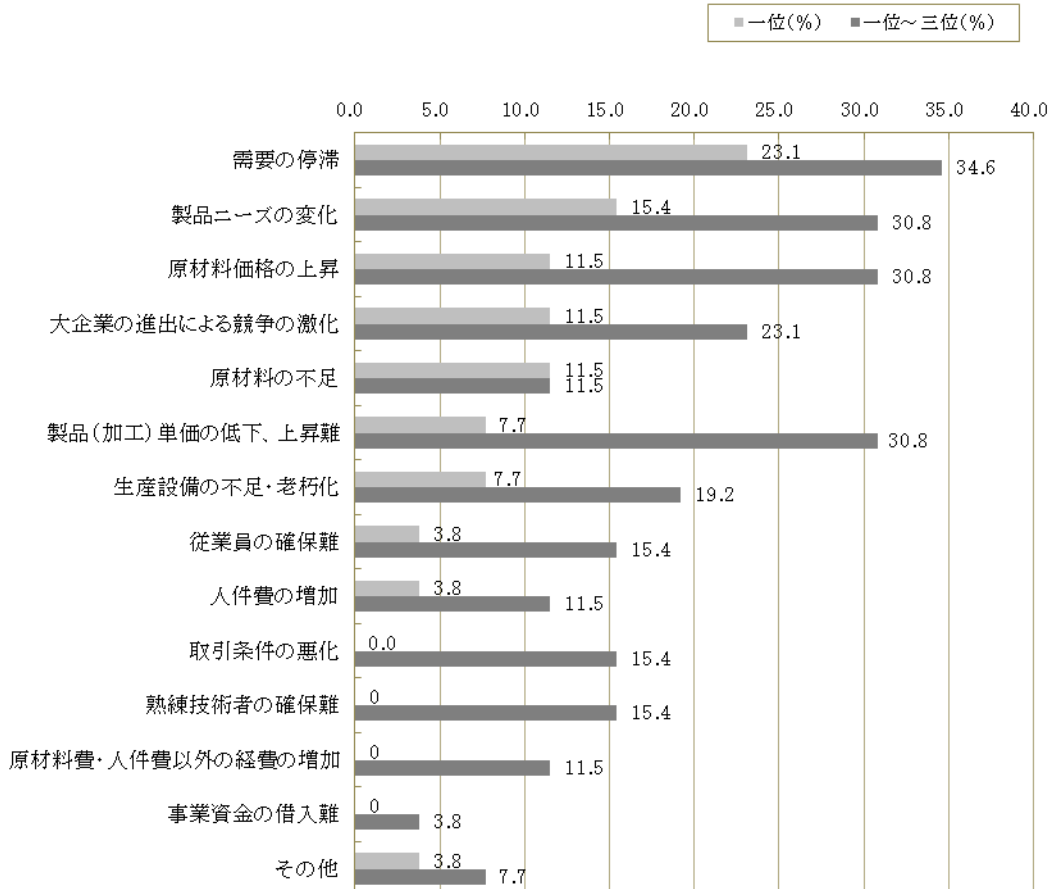
来期については、資金繰り DI 値は、やや悪化の見通しとなっているものの全体的には今期に続き、改善する見通しになっている。

今期は新規設備投資については 2 社が実施。内訳は、車両・運搬具が 1 社、付帯施設が 1 社となっている。また、来期は 1 社が計画しており、OA 機器の導入を予定している。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“受注減少傾向続き、先行き不透明感強まる”

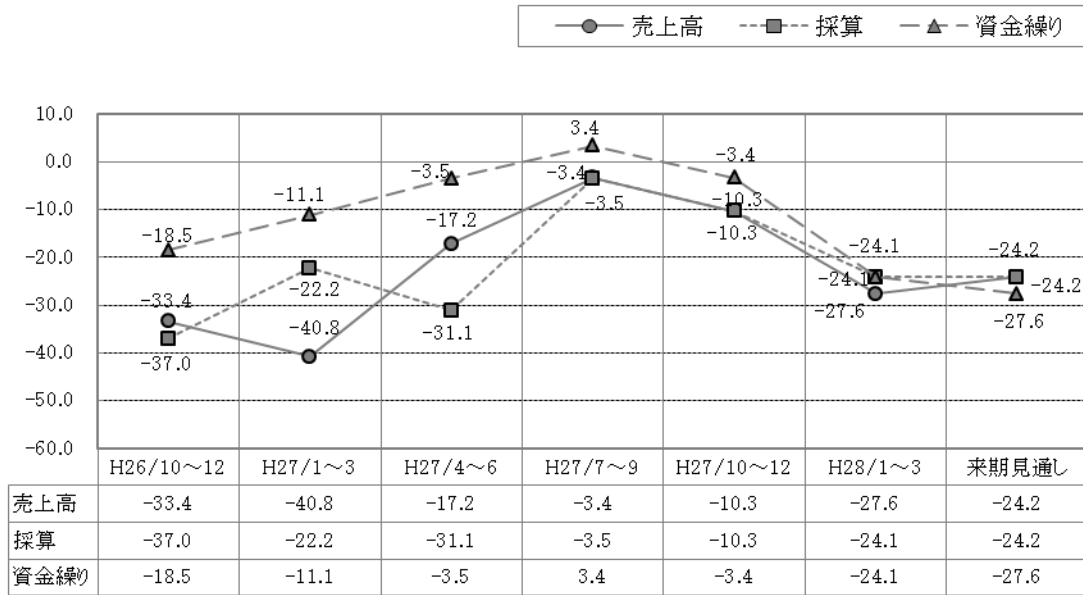
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、前期同様、公共工事関連の受注が減少している。さらに、従業員の確保難を課題とする事業者が増加しており、人手不足による機会損失も発生している。このため、売上高 DI 値は-27.6 ポイント、前期 (-10.3 ポイント) 比で 17.3 ポイントマイナス幅が拡大している。また、請負単価の低下、上昇難や材料価格の上昇を問題点にあげる事業者は依然多く、収益構造はさらに悪化しており、採算 DI 値については-24.1 ポイントで前期 (-10.3 ポイント) 比 13.8 ポイントマイナス幅が拡大している。資金繰り DI 値は-24.1 ポイントで、前期 (-3.4 ポイント) 比で 20.7 ポイント悪化している。

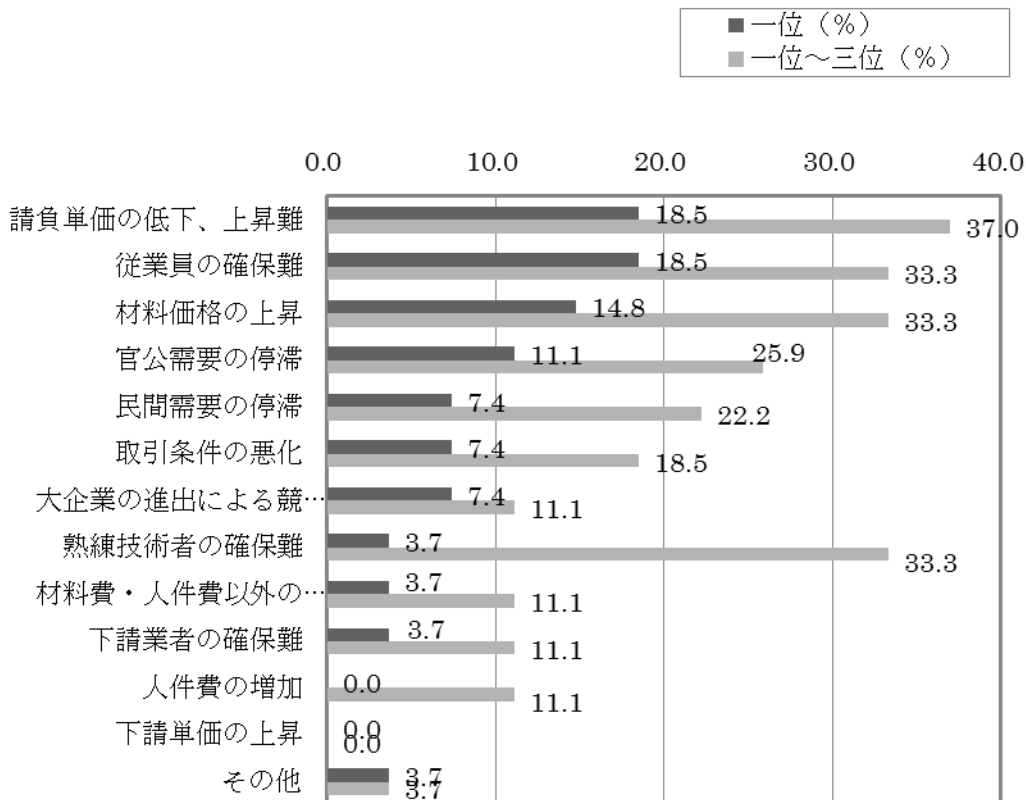
来期についても、今期同様の見通しとなっており、先行きが不透明な事業環境となっている。

新規設備投資については、2社が実施しており、建設機械と車両・運搬具を導入。来期計画は1社となっており、OA機器の導入を予定している。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“売上高は改善方向へ、魅力的な店舗づくりが課題”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

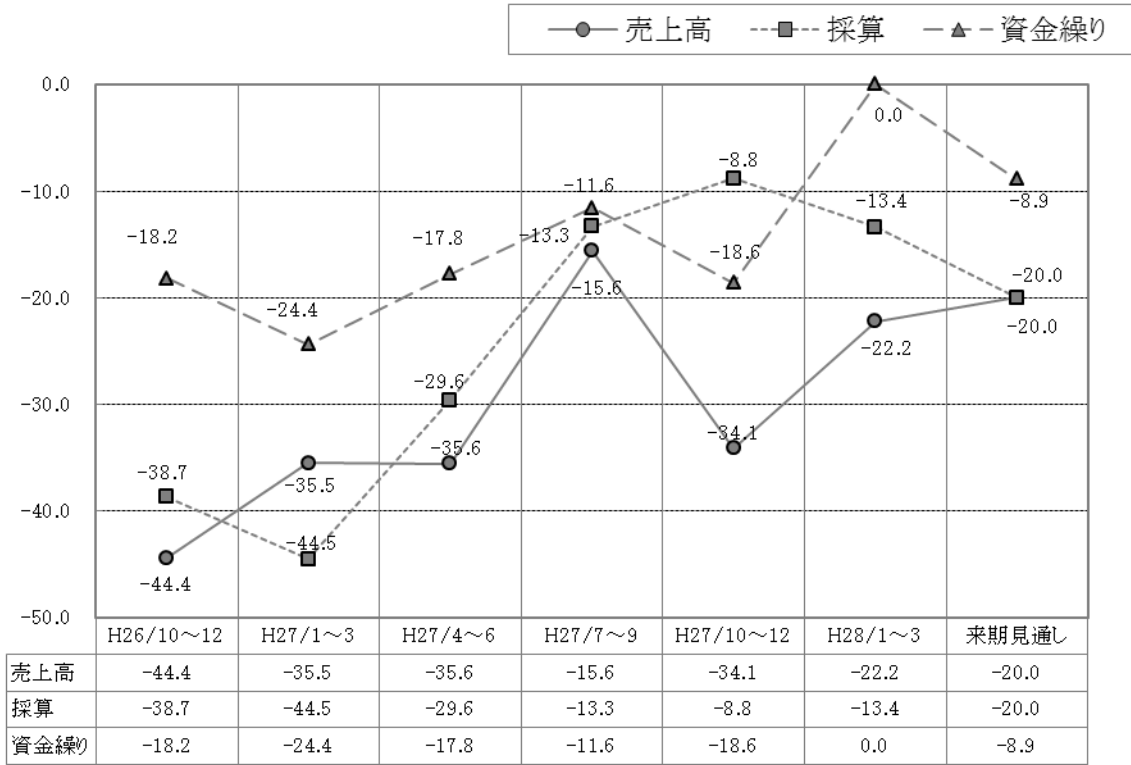
千葉県商工会地区における小売業の景況は、売上高DI値は-22.2で、前期(-34.1)よりも11.9ポイントマイナス幅が縮小。ふるさと納税で感謝券を発行している地域もあるが、大型店進出や購買力の他地域への流出を問題点としてあげる事業者は減少しており、事業者によるバラツキはあるものの、事業環境はやや改善されている。資金繰りDI値についても0.0で前期(-18.6)から18.6ポイントマイナス幅が縮小している。採算DI値は-13.4で、前期(-8.8)から4.6ポイントマイナス幅が拡大。

来期について売上高DI値は継続して改善する見通しであるが、採算、資金繰りDI値は悪化する見通しである。

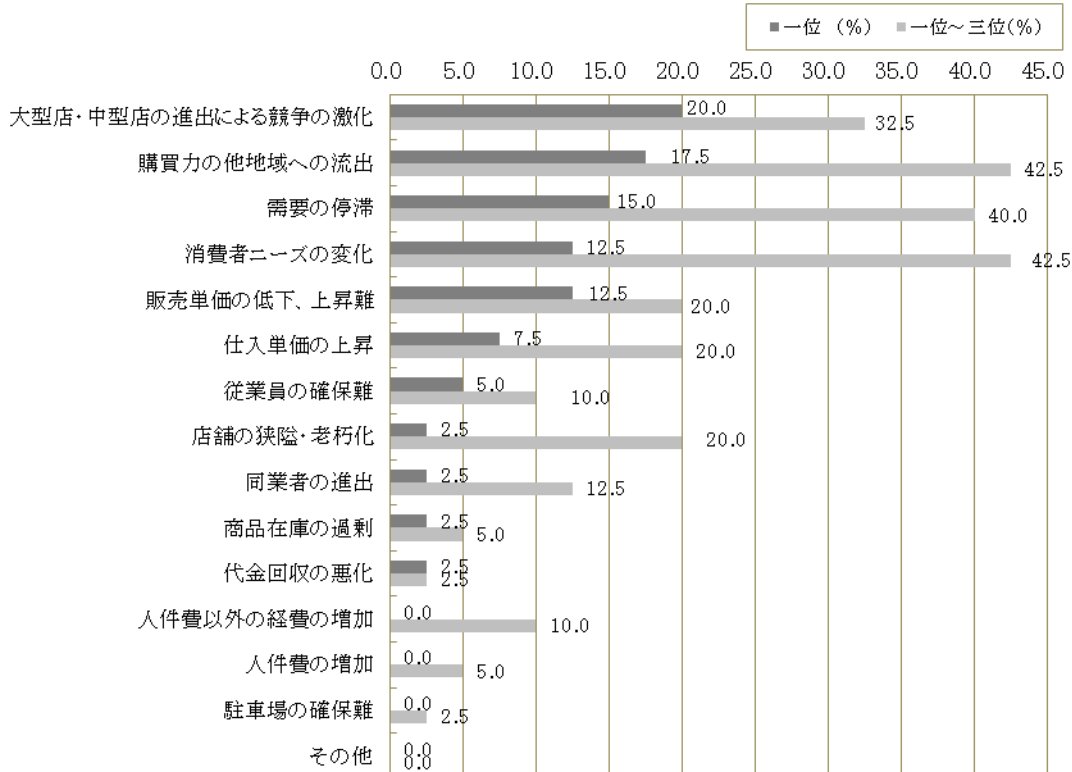
需要の停滞については、相変わらず多くの事業者が問題と感じており、魅力的な店舗づくりによる差別化や商圈の拡大が引き続き課題となっている。

新規設備投資については、4社が実施。店舗、車両運搬具などを導入している。また、来期計画は3社で、販売設備、車両・運搬具などの導入を予定している。

[図Ⅱ-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図Ⅱ-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“弱い動きはみられるものの、緩やかに回復”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

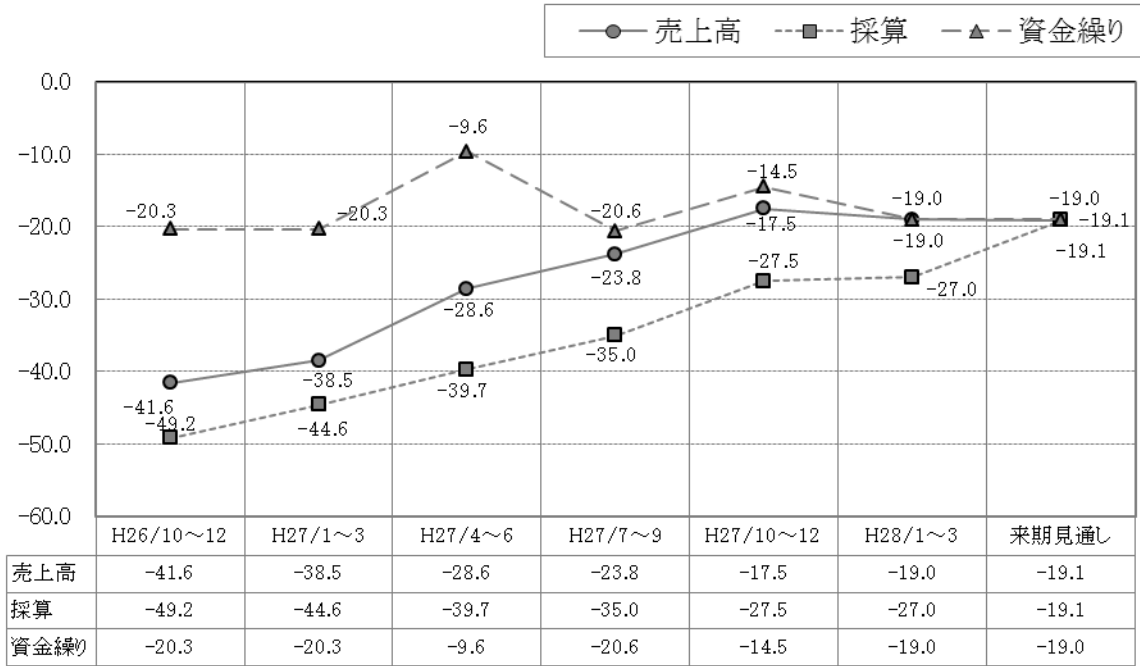
千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、暖冬の影響や週末の悪天候もあり、売上高 DI 値については-19.0 ポイントで 1.5 ポイント（前期比）マイナス幅が拡大し、6 期ぶりに悪化した。資金繰り DI 値についても-19.0 ポイントで、前期比 4.5 ポイントマイナス幅が拡大している。なお、採算 DI 値については、-27.0 ポイントで 0.5 ポイント（前期比）ではあるがマイナス幅が縮小しており、6 期連続で改善している。利用料金の低下・上昇難、材料等仕入単価の上昇を問題点とする事業者は前期より減少していることから、サービスの見直しを含め、採算面の改善は順調に進んでいる。

来期については、売上高、資金繰り DI 値は、ほぼ横ばいの見通しであり、採算 DI 値については、引き続き改善を見込んでいる。

一方で、従業員の確保難を課題としている事業者が増えており、オペレーション面での課題が表面化している。また、利用者ニーズの変化を経営上の課題とする事業者が増えており、他事業者との差別化や消費者ニーズに対応したサービス開発等経営力向上への取組みについては、前期に続き課題となっている。

なお、新規設備投資については、5 社が実施。建物、サービス設備などを導入している。また、来期計画は 8 社で、建物、サービス設備、車両・運搬具などの導入を予定しており、設備投資も増加傾向にある。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

